

実務経験のある教員による授業科目（看護学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	看護
疫学	2	疫学調査・研究の実務経験のある教員が、実務に関連した授業を行う。	○
疫学・保健統計学Ⅰ	1	公衆衛生業務を担う公的な研究所でデータ収集、解析経験を持つ教員がデータの取り扱いや保護、データ分析の在り方・活用の考え方について講義を行う。	○
グローバルヘルス	1	WHO、JICA、NGOで勤務経験のある教員が講義を行う。	○
保健医療福祉行政論	2	本科目の非常勤講師は、県型保健所、政令市保健所での管理職を含めた保健師経験、政令市保健所での環境衛生業務・市衛生研究所所長等の経験をもつ方々であり、学生にとっては、講師陣の豊富な活動経験から、保健医療福祉行政および内側・外側から見た保健師活動について学ぶ機会となる。	○
保健統計学Ⅱ	1	実務データの分析実績のある教員が実務に関連した内容の演習を行う。	○
医療社会学	2	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を生かした授業	○
看護援助論ⅠB	1	本科目は看護師の実務経験を有する教員が講義および演習指導を行う。	○
看護援助論ⅠC	1	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、演習で実施する看護援助に関する視聴覚教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本講義および演習を行う。	○
看護援助論ⅠD	1	医療機関において看護職として実務経験のある教員が指導する。	○
看護援助論Ⅲ	1	【母性】 周産期看護業務に携わった教員、臨床助産師により教授する。 【小児】 小児看護業務に携わった経験のある教員が教授する。	○
看護援助論実習Ⅱ	2	医療機関において看護職として実務経験のある教員が指導する。 臨地にて実習指導経験のある教員が指導する。	○
看護演習	1	各領域の看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
看護学概論Ⅰ	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義および演習を行う。	○
看護学概論Ⅲ	2	担当教員全員は、看護師/助産師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。これらの経験を活かして本講義を行う。	○
看護技術リファレンス	2	医療機関や行政機関で看護職として実務経験のある教員が指導する。 臨地にて実習指導経験のある教員が指導する。	○
看護研究Ⅱ	2	各指導教員が、それぞれの実務経験を活かして研究指導を行う。	○
看護提供システム論Ⅰ	1	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多重課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本講義および演習を行う。さらに、特定機能病院の看護管理者（看護部長・看護師長）が看護マネジメントの実際を教授する。	○
看護提供システム論Ⅱ	1	非常勤講師の川谷氏は臨床看護の立場から、荒川氏は地域看護の立場から、被災地での活動経験をもち、それに基づいたリアルな被災者支援のあり方を教授される。	○
緩和ケア看護論	1	名古屋市立大学病院の専門看護師の資格をもつ看護師が、非常勤講師としてがん看護学、緩和ケアに関する内容の授業を行う。 ELNEC-Jクリティカルケア指導者の資格をもつ教員が、クリティカルケア看護における緩和ケア、エンド・オブ・ライフケアに関する内容の授業を行う。	○
ケアシステム看護学Ⅰ	1	本科目は医療施設で看護経験のある教員が指導する。	○
ケアシステム看護学Ⅱ	1	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、感染予防対策の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義および演習を行う。	○
健康支援看護学Ⅰ	1	周産期医療に携わった教員が担当する。	○
健康支援看護学Ⅱ	1	小児看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
健康支援看護学Ⅲ	1	一次救命処置、二次救命処置等の救急医療業務に携わった教員が講義する。	○
健康支援看護学Ⅴ	1	医療機関、訪問看護等の臨床看護の実務経験及び、高齢者看護教育の実務経験10年以上の教員が担当する。	○
基礎看護技術Ⅰ	2	本科目は看護師の実務経験を有する教員が講義および演習指導を行う。	○

実務経験のある教員による授業科目（看護学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	看護
基礎看護学実習Ⅰ	1	本科目は看護師の実務経験を有する教員と、病棟看護師として現役の実務者である実習指導者が協力して学生の実習指導を行う。	○
公衆衛生看護学概論	2	門間の行政保健師としての経験、教員になってから関わった保健師活動の様子などを取り入れて講義を行います。	○
公衆衛生看護学実習A	3	行政機関や学校等において保健師や養護教諭として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
公衆衛生看護学実習B	2	行政機関や学校等において保健師や養護教諭として実務に携わった教員が指導する。また、実習施設では実務指導者から指導を受ける。	○
公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	行政機関などで健康教育・学習の実務経験がある教員が指導する。	○
公衆衛生看護活動論Ⅱ	2	保健師として地域診断とそれに基づく保健活動に携わった実務経験を有する教員が担当する。	○
公衆衛生看護活動論Ⅲ	2	行政機関や学校等において保健師や養護教諭として実務に携わった教員が講義する	○
公衆衛生看護活動論Ⅳ	2	行政機関や企業等で保健師の実務に携わった教員が講義する	○
公衆衛生看護活動論Ⅴ	2	行政機関などで公衆衛生看護活動に携わった教員が講義する。	○
公衆衛生看護管理論Ⅰ	2	非常勤講師のお二人は、愛知県、名古屋市にて保健師の統括的ポジションを経験された方です。個別支援のみならず、調整・管理的な保健師活動を実際例から教授いただきます。	○
公衆衛生看護管理論Ⅱ	2	保健師国家試験受験資格取得科目の最後に位置付けられる科目として、担当教員それぞれの保健師活動や現在の研究的取り組みを取り入れた教育内容となるよう、講義を行う。	○
国際保健活動論	1	WHO、JICA、NGOで勤務経験のある教員が講義を行う。	○
コミュニティ・ヘルスケア基礎	2	医師、薬剤師、看護師としての実務経験を有する教員および外部講師がそれぞれの職種の役割を講義する。	○
コミュニティ・ヘルスケア応用	2	医師、薬剤師、看護師、としての臨床経験を持つ教員が講義・実習を担当する。	○
コミュニティ・ヘルスケア実践	2	臨床現場では、医師、薬剤師、看護師から直接指導を受ける。	○
高齢者看護学概論	1	担当者は、病院での臨床経験、訪問看護、施設看護、病院看護等の臨地実習指導経験がある。これらの経験を通して得た知見と最新の研究知見を踏まえて、実社会・実践に沿った教育を行う。	○
クリティカルケア看護援助論	1	消化器外科・一般外科看護・集中治療室等の業務に携わった教員が、周手術期の看護について講義する。	○
クリティカルケア看護論	1	手術室・消化器外科・一般外科看護の業務に携わった教員が、周手術期の看護について講義する。	○
リハビリテーション看護論	1	臨床経験のある教員が実践での体験を含めながら教授する	○
臨地実習A(生涯発達母性系)	2	臨床実習指導者が学生担当として看護実践における指導を行う（週単位～数日単位で交代） 臨床経験をもつ教員が臨地へ赴いて看護過程ならびに臨床側実習指導者と連携して指導を行う。	○
臨地実習B(生涯発達小児系)	2	小児看護業務に携わった経験のある教員が教授する。	○
臨地実習C(生涯発達老年系)	2	医療機関、訪問看護等において臨床看護の実務経験のある教員が指導する。 介護老人保健施設の実習指導者には、臨床実習指導者研修を実施している。	○
臨地実習D(クリティカルケア系)	2	周手術期看護業務に携わった教員と実習指導者が、実習指導する。	○
臨地実習E(セルフマネジメント系)	2	慢性疾患看護やがん看護の業務に携わったこと経験のある教員、および、実習指導者の指導の下、看護過程を展開する。	○
臨地実習G(精神療養生活系)	2	医療機関及び精神科リハビリテーション施設で看護職として実務経験のある教員が指導する。	○
臨地実習H(地域療養生活・リハビリ系)	2	担当する教員は全員、看護師または保健師の実務経験を有する。 在宅療養生活を支えるために必要とされる様々な社会資源とそれらの連携協働について、その中での看護職のあり方について、実践をもとに教授できる。	○
臨地実習Ⅰ（看護学統合実習Ⅰ：看護管理実	2	担当教員全員は、看護師としての実務経験があり、看護教育・研究活動を行っている。また、多重課題のシミュレーション教育の教材を作成し、教育効果が向上するよう改善を重ねている。これらの経験を活かして本実習を行う。	○
臨地実習Ⅱ（看護学統合実習Ⅱ：看護統合実	2	各担当教員が専門性を生かし教授する。	○
臨地実習F(緩和・期末系)	2	各領域に特有の看護について実務経験のある教員が直接担当し指導する。	○
セルフマネジメント看護論	1	臨床経験のある教員が実践での体験を含めながら教授する	○
精神療養生活看護論	1	医療機関および精神科リハビリテーション施設で看護職として実務経験のある教員が指導する。	○
成人看護学概論	1	消化器外科・一般外科看護等で成人看護の業務に携わった教員が講義する。	○
精神看護論	2	医療機関で看護職として実務経験のある教員が指導する。	○

実務経験のある教員による授業科目（看護学部）

科目名	単位数	実務経験を活かした教育の取組	看護
疾病・治療論Ⅰ	2	臨床経験を生かした講義	○
疾病・治療論Ⅲ	2	現役医師としての経験を織り込んでいる	○
疾病・治療論Ⅳ	2	実際に臨床の現場で働いている医師による講義である。最新の治療法についても学べるので、疑問点は積極的に質問してほしい。	○
疾病・治療論Ⅴ	2	本科目は14名の兼任講師が教授する。講師は、医学研究科・名市大病院群に所属し、診療を行っている。臨床医療の最先端を教授する。	○
疾病・治療論Ⅵ	2	現役医師としての経験を織り込んでいる	○
生涯発達看護援助論Ⅰ	1	周産期の看護業務と助産業務および助産師教育に携わった教員が教授する。	○
生涯発達看護援助論Ⅱ	1	小児看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
生涯発達看護援助論Ⅲ	1	医療機関において、急性期看護の実務経験のある教員が指導する。 医療機関および高齢者介護施設において臨地実習指導経験のある教員が指導する。	○
生涯発達看護論Ⅰ	2	周産期看護業務に携わった教員が教授する。	○
生涯発達看護論Ⅱ	2	小児看護業務に携わった経験のある教員による教授とする。	○
地域療養生活看護援助論	1	訪問看護、病院看護の臨床経験者が教授する。	○
地域療養生活看護論	2	訪問看護師としての実務経験を有する教員は、地域療養を必要とする住民を対象とした法的枠組みやケアシステム、他職種との連携協働を中心として教授する。 また、高齢者看護の実務経験を有する教員は、生活支援や健康への支援を必要とする高齢者及び家族に焦点を当てた支援について教授する。	○
人体の構造と機能Ⅰ	2	臨床医として外来診療を行っている教員が、医療人として知っておいて欲しいことを講義します。 一方的に与えられる授業ではなく、自分たちで調べて発表する機会も設けたいと思っています。	○
人体の構造と機能Ⅱ	2	臨床での疾病との関連を説明	○

【専門教育科目】

全学共通科目	0
学部等共通科目	117
専門科目	0
単位数合計	117

【教養教育科目】

全学共通科目	42
学部等共通科目	6
専門科目	0
単位数合計	48

【合計】

全学共通科目	42
学部等共通科目	123
専門科目	0
単位数合計	165